

子ども会

特集 体験の宝箱として

聞いて・見て・触って

体験する活動研修会
川崎市高津区子ども会
| p.3

自分をこ・え・る

関東甲信越静地区子ども会
ジュニアリーダー研修会
| p.4

この夏 きみも火を起こす！

野外炊事研修会
横浜市子ども会連絡協議会
| p.5



子ども会は体験と成長の宝箱だ。

社会の変化と子どもたちの変化

昭和に生まれた私たちの世代は、あまりモノが多くなかったのとにかくヒトとのかかわりがほとんどでした。親や家族と家で過ごす時間以外は近所の子どもたちと集まって虫を取ったり鬼ごっこをしたりしました。年齢は関係なく集団で遊びましたね。近所のおじさんおばさんに怒られたり教えられたりしたこともありました。

現在の子どもたちは多くのモノに囲まれ豊かに過ごしているように見える一方で、親や家族と過ごす時間が少なかったり、友達と遊んだりする時間は減ってしまったかもしれません。スマホやインターネットに多くの時間を使い、地域の大人と関わる時間はあまりないかもしれません。ヒトとコミュニケーションをとるということの変化があると感じます。

体験のいいところ

子どもたちが体験から得るものは多いです。子ども会ではジュニア・リーダーやユース・リーダーが活躍していますが東日本大震災の際には避難所で彼らの活躍があっ

たと聞きました。ヒトと距離を縮め、思いやりをもって接することはリーダーとして大切な素養です。こういったリーダーの姿を見て子どもたちは育っていきます。ヒトと接しない方が楽かもしれませんが一つひとつの体験の中で関わりを持つことが、子どもたちの成長につながります。子ども会はそのような役割を担っています。

格差とたたかう

子ども会では親の負担という問題がよくあがります。親も地域も無理なく子どもを支え、見守ってほしいです。義務だと捉えず楽しく活動することが基本です。子ども会があるところとないところでは、子どもたちの体験にも差があります。子どもたちにはヒトと交流しながらたくさん体験して育ってほしいと願うばかりです。

PROFILE

橋本 輝夫

神奈川県子ども会連絡協議会会長／2024年より

- ・小田原市在住
- ・キャンプネームは「はっしー」
- ・趣味は散歩とテレビと阪神タイガースの応援
- ・好きなアイスブレイキングは反抗期

聞いて・見て・触って 体験する活動研修会

場所：高津警察署

対象：川崎市高津区の子どもたち

主催：川崎市高津区子ども会連合会



指紋の鑑識

特殊な薬剤を用いて自分の指紋を採取しました。証拠品として持ち帰りました。これで悪いことはできないね。



白バイ体験

子どもサイズの制服を着せてもらったり、警棒を持たせてもらったりしました。白バイやパトカーに乗せてもらいました。

「前の車とまりなさ〜い！」



逮捕術の実践

ソフト竹刀を用いて相手の刃物を叩きおとす訓練を習いました。えーいと勢いよく振り下ろすのはなかなか難しかったですね。



川崎市高津区子ども会連合会長 石橋 明彦

子どもたちが警察の大変な仕事に接することができ、改めて体験の意義を感じました。これからも継続して子どもたちに体験を提供したいです。



関東甲信越静地区子ども会 ジュニア・リーダー研修会

場所：厚木市七沢自然ふれあいセンター

対象：ジュニア・リーダー

主催：（一社）神奈川県子ども会連合会

今年は神奈川県が担当するこの事業、スローガン「自分をこ・え・る!!」のもと、様々な体験活動を盛り込み準備してきました。2泊3日の当日は、地区内10県のJL69名、引率の指導者・YL38名、神奈川県のスタッフ35名、総勢142名でにぎやかに開催しました！

アイスブレイキング



KYT展示会



お楽しみ会



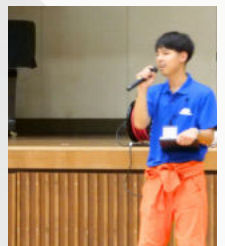
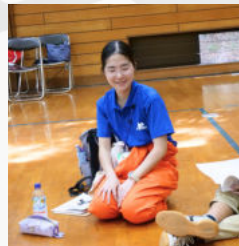
伝える力研修会



夕べのつどい



かながわ戦隊
「県子レンジャー」
も大活躍！



県子連 YLC
小松田 美羽

今年度の研修会は神奈川県が担当だったのでスタッフとして参加しました。県子連YLCの先輩たちが1年以上前から企画を練ったプログラムは盛りだくさんでしたが、参加者の皆さんはこれからの活動に役立つ何かを持ち帰ってもらえたでしょうか。

私自身は県子連YLC一員としてメンバーと交流したり、昨年の長野大会にも参加していたジュニア・リーダーと再会したり、人とのつながりの輪が広がるのを実感しました。これからも人との関わりを大切にしていきたいです。

野外炊事研修会

この夏 きみも火を起こす！

場所：三ツ沢公園

対象：横浜市のこどもたち

主催：横浜市子ども会連絡協議会

横浜市子ども会は野外炊事の研修会を実施しました。アイスブレイキングやYLたちの寸劇を加えたKYTもお見事でした。横浜のリーダーたちの頼もしさと力強さを感じることができましたよ！



アイスブレイキングでニコニコ



「軍手が薪割りのポイントだって知ってた？」



体験の前だからこそ「KYT」



火起こし、できたじゃん！



すごい！お鍋で炊けた！



みんなで揃って「いただきます♪」



横浜市 JL
横山 仁夏

当日は、参加者のみなさんと積極的にコミュニケーションを取ることを意識して運営に臨みました。「今楽しめているかな？」「困っていないかな？」「退屈していないかな？」と常に気を配り、様子を見ながら声をかけるようにしました。私自身野外炊事が得意ではありませんでしたが、それを隠さず、「できた！」という喜びを一緒に感じられる雰囲気づくりを心がけました。苦手なことにも前向きに取り組み、仲間と協力することで楽しさや達成感を感じることができました。参加者の笑顔やあたたかい声に励まされ、改めて「人と関わることの大切さ」を実感しました。

子どもフェスティバル・子ども会大会

県子連YLC
野田 融

ホワイテな天気、遅めの開催時期、昭和がテーマ！今年の子フェスはなにもかもがイレギュラーでした。それでも、たくさんの方に来てもらえたのは今までの積み重ねがあってこそ！体験して、工作して、食べて、楽しんでもらえました。また、来年もいいものを作りたいですね！



神奈川県子ども会連絡協議会永年功労表彰

川崎市中原区	米谷 正児	小田原市	松本 美子
川崎市中原区	中野 潤一郎	大和市	村田 智子
川崎市川崎区	比留川 寿	大和市	六田 明美
川崎市幸区	古市場子ども会	大和市	小室 美季
川崎市幸区	JLCたんぽぽ		

(敬称略)

おめでとうございます

編集後記

今年度の活動はジュニア/ユース・リーダーがいろいろなイベントの体験活動を通じて交流ができましたこと、大変うれしく思います。子どもたちの成長に欠かせない子どもたち同士の交流が子どもたちの健全育成につながる貴重な要素です。これからも子どもたちに楽しい体験イベントを進めていただけますようよろしくお願いいたします。発刊に際し協力いただきました皆様に感謝いたします。

なお本広報誌は、神奈川県立青少年センターのご協力により発刊いたしました。

広報誌担当委員長 片岡喜久江

略称解説

JL：ジュニア・リーダー
YL：ユース・リーダー
JLC：ジュニア・リーダーズ・クラブ
YLC：ユース・リーダーズ・クラブ
KYT：危険予知トレーニング



発行：令和8年3月1日

企画：神奈川県立青少年センター

編集：神奈川県子ども会連合会

横浜市子ども会連絡協議会

川崎市子ども会連盟